

# 第16回米子市水道事業審議会 資料

- ・平成26年度の当初予算（案）について
- ・地方公営企業会計制度の変更と会計基準の見直しについて

平成26年2月20日(木)

～ 地方公営企業会計制度の変更と会計基準の見直しについて ～

□地方への権限の委譲（自己責任の拡大）とあわせて、より現行の企業会計の原則をとり入れたもの（透明性の向上）へと見直された。

- 経 緯 ・平成 21 年 12 月 「地方分権改革推進計画」を閣議決定される。  
\*国から基礎自治体への権限移譲（義務付けの見直し、地方の条例制定権の拡大）
- ・平成 23 年 5 月 「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律（第 1 次一括法）」による地方公営企業法の一部改正により資本制度の見直し（平成 24 年 4 月施行）
  - ・平成 24 年 1 月 地方公営企業法に係る政令、施行令、政省令等の一部改正により会計基準の見直し（平成 24 年 2 月施行 [平成 26 年度予算及び決算から本格適用](#)）

目 的 現行の企業会計原則の考え方を取り入れ、透明性の向上と自己責任の拡大を図る。

背 景 企業会計原則が国際基準をふまえて見直されている一方で、地方公営企業会計制度は、昭和 41 年から 46 年間大きな改正が行われておらず、相互の比較分析を容易にするためにも企業会計制度との整合を図る必要が生じていた。

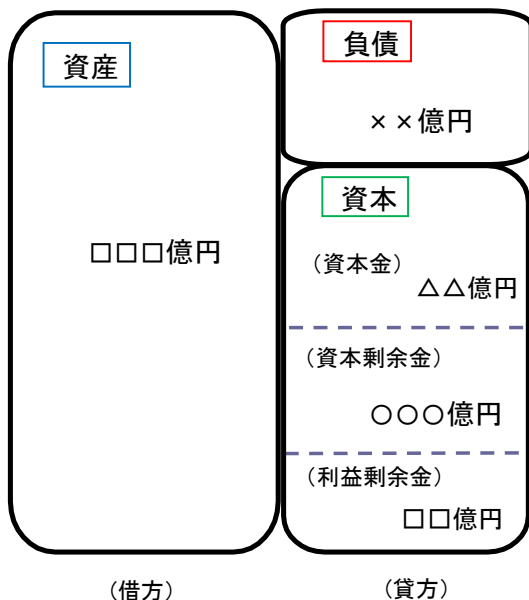
《主な見直し》

- I 資本制度の見直し
  - 利益の処分方法、資本剰余金の処分方法、資本金の額の減少について
- II 会計基準の見直し
  - 1 借入資本金を負債に計上（企業債を負債として認識します。）
  - 2 みなし償却制度（補助金等により取得した固定資産の償却制度）の廃止
  - 3 引当金の計上の義務付け（退職給付引当金など）
  - 4 リース取引に係る会計基準
  - 5 キャッシュフロー計算書の導入（現金の増減をより明確にします。）
  - 6 勘定科目等の見直し
  - 7 組入れ資本金制度の廃止
  - 8 セグメント情報の開示
  - 9 たな卸し資産への低価法の適用
  - 10 繰延資産の廃止
  - 11 減損会計の導入

# ◆財務諸表

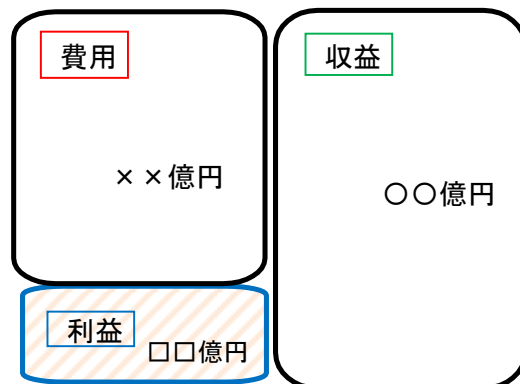
## 【貸借対照表】

左側は資金の運用形態を示し、右側は資金の調達源泉を現すものです。



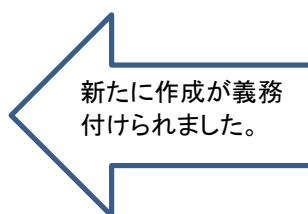
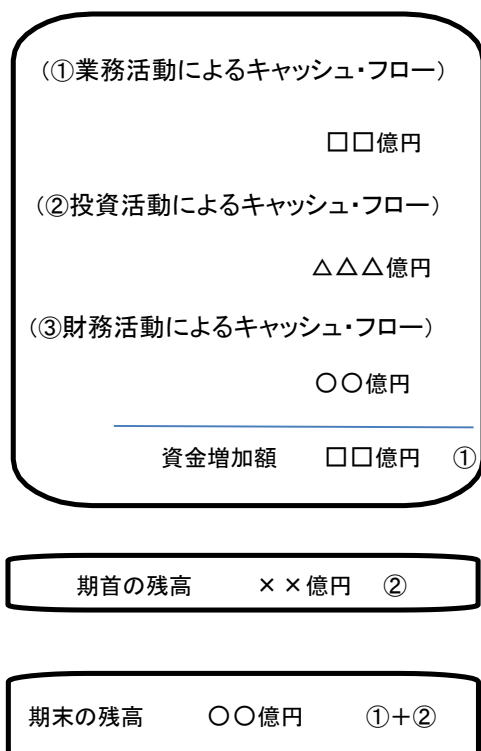
## 【損益計算書】

単年度の経常的な収入及び費用の収支の状況を現すものです。



## 【キャッシュ・フロー計算書】

一定期間における現金の増加や減少を示すものです。

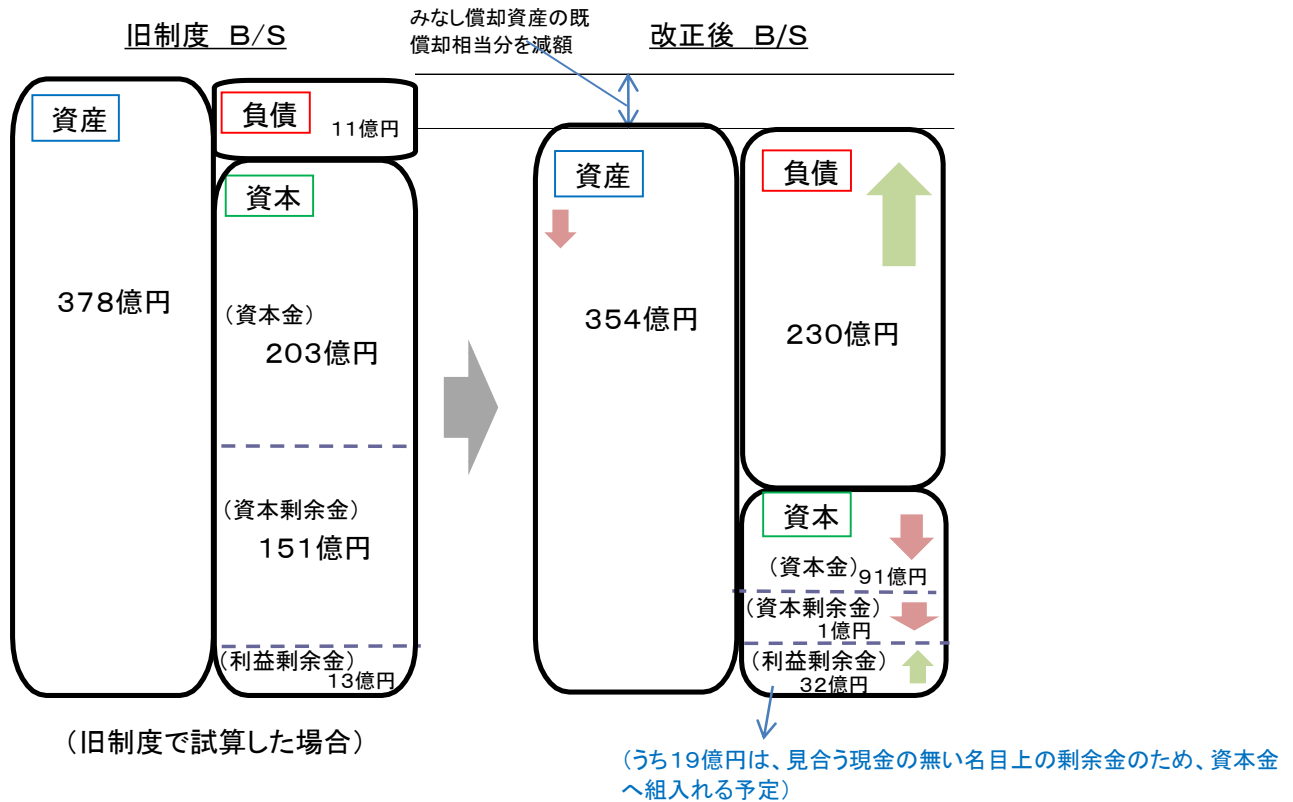


- ① … 主な業務活動によるキャッシュの増減
- ② … 設備投資や資産運用によるキャッシュの増減
- ③ … 資金調達や、借入金返済などによるキャッシュの増減

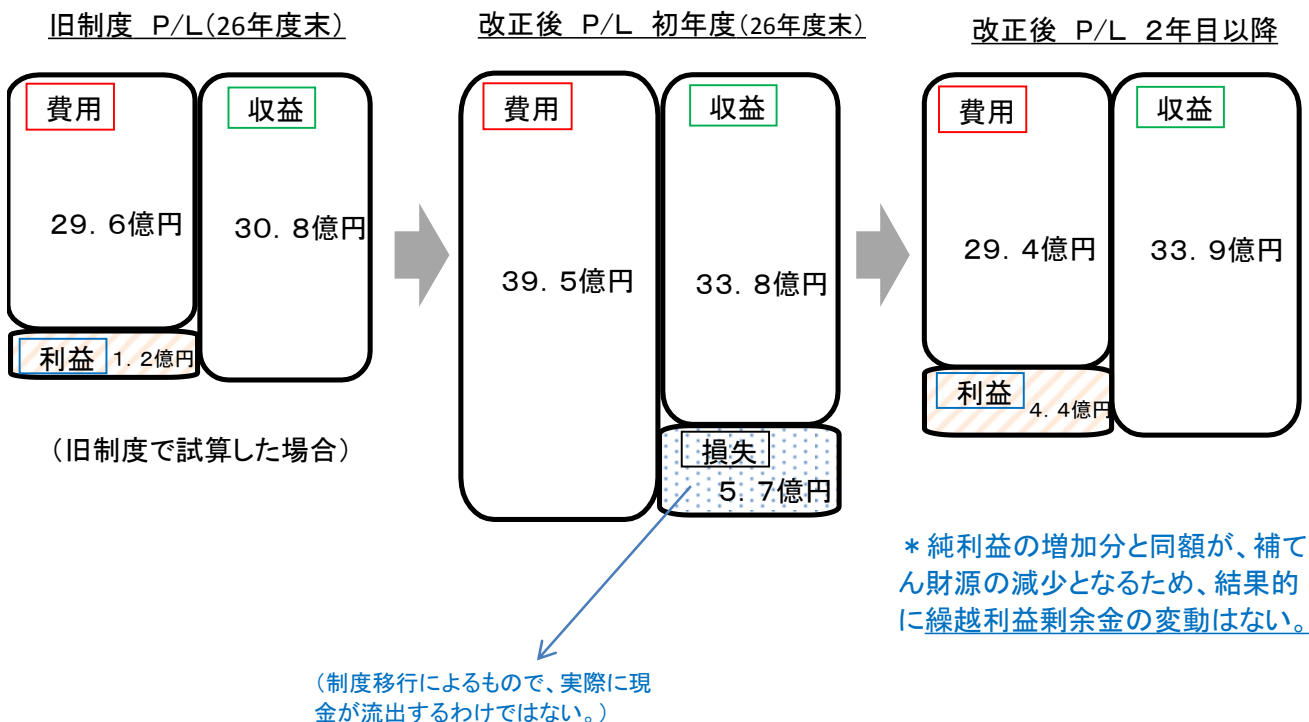
# ◆財務諸表への影響

平成26年度見込額でのシミュレーション

## 【26年度末 予定貸借対照表】



## 【平成26年度 予定損益計算書】



【26年度 予定キャッシュ・フロー計算書】

旧制度 C/F

(旧制度で試算した場合)

(業務活動によるキャッシュ・フロー)	11.2億円
(投資活動によるキャッシュ・フロー)	△20.2億円
(財務活動によるキャッシュ・フロー)	12.7億円
資金増加額	3.7億円 ①

期首の残高	19.8億円 ②
-------	----------

期末の残高	23.5億円 ① + ②
-------	--------------

改正後 C/F

(業務活動によるキャッシュ・フロー)	11.2億円
(投資活動によるキャッシュ・フロー)	△20.2億円
(財務活動によるキャッシュ・フロー)	12.7億円
資金増加額	3.7億円 ①

期首の残高	19.8億円 ②
-------	----------

期末の残高	23.5億円 ① + ②
-------	--------------



\* 制度の移行に伴う現金の流れに変動はない。

## 平成 26 年度米子市水道事業会計予算について

### 編 成 方 針

平成 26 年度予算は、平成 19 年度に策定した 10 年間（平成 20 年度～平成 29 年度）の水道事業基本計画をもとにし、更に検証を加えたものに基づいて作成した。給水収益の減少傾向の中、経常的経費を抑制し、投資的経費については、引き続き新規配水池設置事業に重点を置き、更に良質で安定的な水源を求めるため西尾原水源地取水井更新事業を実施する。また、耐震対策を含めた災害対策として、老朽管更新事業、水管橋更新事業及び緊急時用連絡管布設事業を進めるとともに新庁舎建設に向けた基本設計に着手する。本予算は一層の安全で良質な水の安定供給を図ることを目的として編成した。

なお、当年度より改定後の地方公営企業会計基準を適用して財務諸表等を作成している。

### 予 算 の 概 要

#### 1 予 算 規 模

##### 1) 収益的収支

収益的収入総額は 3,624,696 千円で、消費税率の引上げによる給水収益増加及び会計制度改定に伴う移行処理分である長期前受金戻入益の増加等を見込み、前年度に比較して 390,027 千円（12.1%）の増加とした。

収益的支出総額は、4,007,175 千円で、会計制度改定に伴う移行処理分であるその他特別損失ほかの増加により、前年度に比較して 1,013,391 千円（33.8%）の増加とした。

この結果、純損失は 382,479 千円とした。

##### 2) 資本的収支

資本的収入総額は、2,327,152 千円で、主に企業債及び工事負担金収入の増加により、前年度に比較して 863,646 千円（59.0%）の増加とした。

資本的支出総額は、3,574,510 千円で、主に建設改良費の増加により、前年度に比較して 914,719 千円（34.4%）の増加とした。

また、そのほかに配水池設置事業において、建設改良費 103,268 千円その財源として企業債 98,300 千円を継続費として逡次繰越する予定である。

#### 2 主 な 事 業

- 1) 米子市、境港市並びに日吉津村における配水管布設替等の改良事業（4,650 m）、下水道工事及び土木改良工事に伴う配水管の布設替（6,531 m）を実

施する。

- 2) 耐震対策を含めた老朽管更新事業（2,460 m）を実施する。
- 3) 災害対策事業として、米子市淀江町小波地内緊急時用連絡管布設工事（360 m）を実施する。
- 4) 新規の配水池設置事業を引き続き実施する。
- 5) 西尾原水源地取水井の更新事業を実施する。
- 6) 国道 431 号線の水管橋更新事業を引き続き実施する。（1 か所）
- 7) 配水池設置事業に付随して中央送水ポンプ場建設事業を実施する。（車尾水源地、戸上水源地）
- 8) 新庁舎建設事業として庁舎建設基本設計委託を実施する。

平成26年度米子市水道事業会計当初予算総括表（税込み）

1 収益的収入

（単位：千円）

科 目	平成26年度	平成25年度	増 減	対前年度比	主 な 内 容
1 営 業 収 益	3,292,161	3,220,555	71,606	102.2	
(1) 給 水 収 益	3,088,800	3,034,500	54,300	101.8	水道料金収入 3,088,800
(2) 受 託 工 事 収 益	89,720	73,181	16,539	122.6	下水土木工事に伴う負担金工事収入 79,514 受託修繕工事収入 10,206
(3) そ の 他 営 業 収 益	81,368	75,424	5,944	107.9	検査手数料収入 7,022 消火栓維持補修負担金ほか 8,764 下水道使用料徴収事務受託料 65,466
(4) 加 入 者 納 付 金	32,273	37,450	△ 5,177	86.2	新規加入者納付金 32,273
2 営 業 外 収 益	332,471	14,052	318,419	2366.0	
(1) 受 取 利 息 及 び 配 当 金	1,700	2,700	△ 1,000	63.0	預金利息収入 200 貸付金利息収入 1,500
(2) 他 会 計 補 助 金	18,320	8,866	9,454	206.6	一般会計補助金 18,320
(3) 長 期 前 受 金 戻 入 益	302,890	0	302,890	—	長期前受金戻入益 302,890
(4) 雑 収 益	2,508	2,486	22	100.9	「よなごの水」販売代金 1,000 駐車場収入 692
(5) 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税 還 付 金	7,053	0	7,053	—	
3 特 別 利 益	64	62	2	103.2	
(1) 固 定 資 産 売 却 益	54	52	2	103.8	
(2) 過 年 度 損 益 修 正 益	10	10	0	100.0	
合 計	3,624,696	3,234,669	390,027	112.1	



## 2 収益的支出

(単位:千円)

科 目	平成26年度	平成25年度	増 減	対前年度比	主 な 内 容
1 営業費用	2,843,450	2,719,969	123,481	104.5	
(1) 原水及び浄水費	600,877	568,378	32,499	105.7	動力費 140,929 委託料(各設備保守委託料ほか) 51,063 賀祥ダム管理費負担金 32,708 薬品費 15,373 水源地設備修繕費 57,203
(2) 配水費	339,299	325,729	13,570	104.2	離脱防止金具取付工事費 5,662 配水管等維持修繕費 110,767 委託料(休日修繕業務委託料ほか) 20,100
(3) 給水費	95,798	87,306	8,492	109.7	検満メーター取替工事費 34,439 メーター修繕費ほか 24,445
(4) 受託工事費	89,721	73,183	16,538	122.6	下水土木工事に伴う工事費 79,515 受託修繕工事費 10,152
(5) 業務費	282,997	299,853	△ 16,856	94.4	料金システムほか賃借料 9,619 委託料(点検委託料ほか) 57,650 通信運搬費 12,058
(6) 総係費	330,573	331,773	△ 1,200	99.6	委託料 56,431 建物等修繕費 6,341
(7) 減価償却費	1,027,685	925,563	102,122	111.0	固定資産減価償却費 1,027,685
(8) 資産減耗費	76,346	108,031	△ 31,685	70.7	固定資産除却費 75,846
(9) その他営業費用	154	153	1	100.7	材料売却原価 100
2 営業外費用	220,638	265,383	△ 44,745	83.1	
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	220,138	228,459	△ 8,321	96.4	企業債利息 217,138 一時借入金利息 3,000
(2) 雑支出	500	500	0	100.0	
(3) 消費税及び地方消費税	0	36,424	△ 36,424	0.0	消費税及び地方消費税 還付
3 特別損失	941,087	6,432	934,655	14631.3	
(1) 固定資産売却損	100	100	0	100.0	
(2) 過年度損益修正損	26,740	6,332	20,408	422.3	水道料金不納欠損処分額 4,702 新設用量水器過年度修正額 21,500
(3) その他特別損失	941,247	0	941,247	—	会計制度改正に伴う移行処理額 941,247
4 予備費	2,000	2,000	0	100.0	
(1) 予備費	2,000	2,000	0	100.0	
合 計	4,007,175	2,993,784	1,013,391	133.8	
純 利 益	△ 382,479	240,885	△ 623,364	△ 158.8	

## 3 資本的収入

(単位:千円)

科 目	平成26年度	平成25年度	増 減	対前年度比	主 な 内 容
1 企業債	2,049,600	1,299,700	749,900	157.7	老朽管更新事業 100,000 配水池設置事業 1,710,400 水管橋更新工事 128,100 中央送水ポンプ場建設工事 111,100
2 固定資産売却代金	40	40	0	100.0	
3 工事負担金	216,797	104,295	112,502	207.9	配水管負担金工事収入 216,797
4 他会計出資金	60,715	59,471	1,244	102.1	一般会計出資金 60,715
合 計	2,327,152	1,463,506	863,646	159.0	

## 4 資本的支出

(単位:千円)

科 目	平成26年度	平成25年度	増 減	対前年度比	主 な 内 容
1 建設改良費	2,733,211	1,832,122	901,089	149.2	
(1) 改良費	2,733,211	1,832,122	901,089	149.2	配水管布設工事費 662,773 配水池設置事業 1,780,112 水源施設整備費 137,153 新設用メーター・車両等購入費 8,989
2 企業債償還金	841,299	827,669	13,630	101.6	
(1) 企業債償還金	841,299	827,669	13,630	101.6	企業債償還金 841,299
合 計	3,574,510	2,659,791	914,719	134.4	
不 足 額	1,247,358	1,196,285	51,073	104.3	

## 5 資本的収入不足額補てん

(単位:千円)

当年度分損益勘定留保資金	777,294	978,063	△ 200,769	79.5	
繰越利益剰余金	283,504	139,524	143,980	203.2	
当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	186,560	78,698	107,862	237.1	
合 計	1,247,358	1,196,285	51,073	104.3	

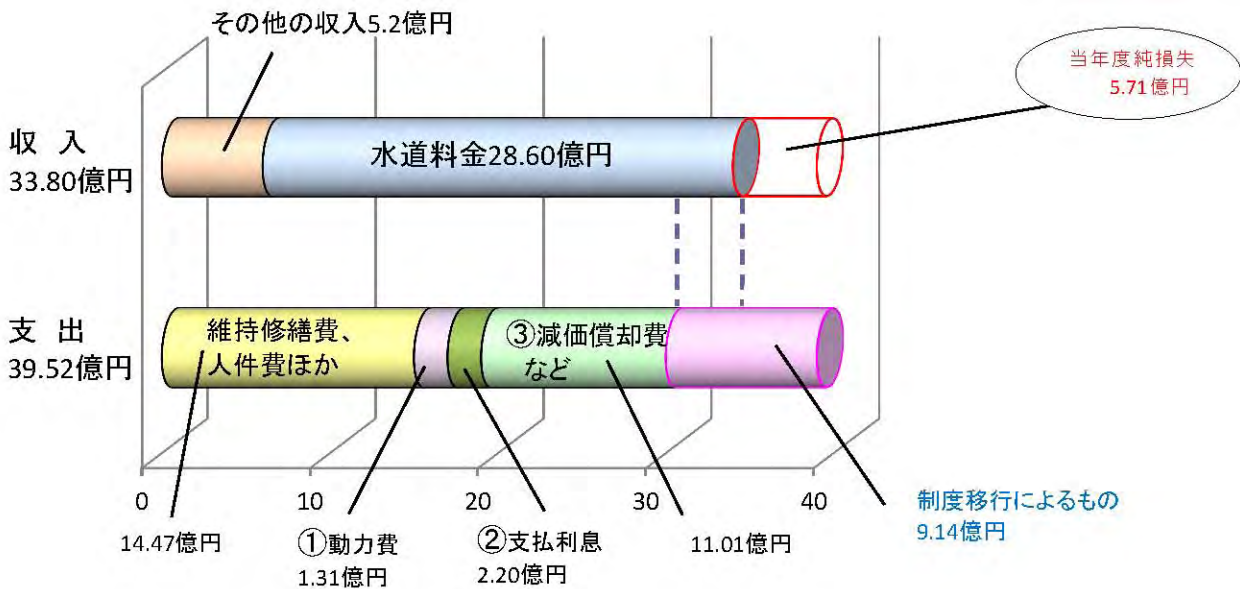
## 6 剰余金処分計算(税抜き)

(単位:千円)

繰越利益剰余金	990,095	780,745	209,350	126.8	
当年度利益剰余金	△ 571,292	162,155	△ 733,447	△ 352.3	
その他未処分利益剰余金変動額	2,795,621	0	2,795,621	—	
合 計	3,214,424	942,900	2,271,524	340.9	
建設改良積立金	283,504	139,524	143,980	203.2	
減債積立金	0	8,200	△ 8,200	0.0	
剰余金変動額のうち資本金に組入額	2,324,621	0	2,324,621	—	
翌年度利益剰余金	606,299	795,176	△ 188,877	76.2	

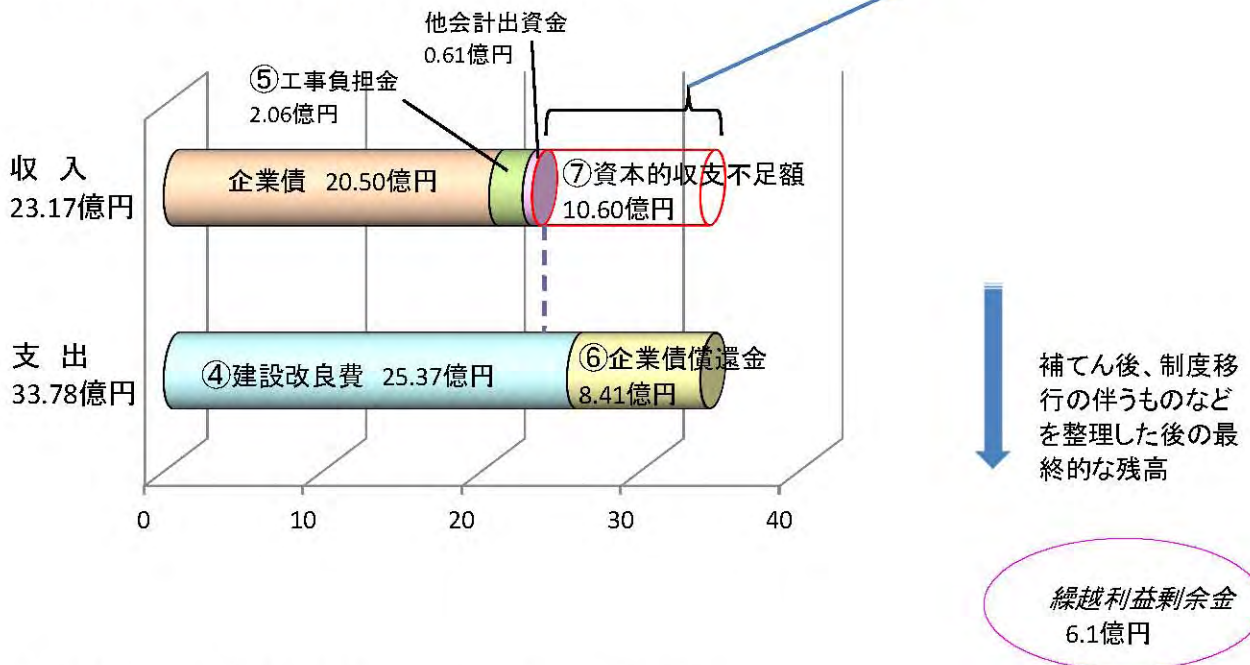
### ★収益的収支の決算(税抜)

(事業の運営や水道施設の管理に係る経常的な収支)



### ★資本的収支の決算(税抜)

(水道施設の新設や更新などに係る投資的な収支)



- ・①動力費 …水道水をお届けするために必要な電気料金。
- ・②支払利息 …企業債(借入金)の利息。
- ・③減価償却費 …施設の新設や更新に使ったお金を一度に費用とはせず、毎年、費用化するものです。
- ・④建設改良費 …施設の建設費や更新に伴う改良工事費で投資的要素があるものです。
- ・⑤工事負担金 …下水道や土木工事などに伴い発生する他会計が負担すべきお金です。
- ・⑥企業債償還金 …企業債(借入金)の元金の返済です。
- ・⑦資本的収支不足額 …減価償却費や繰越利益剰余金などの内部留保資金で補てんします。